済生かわぐち

「地域のみなさまと医療のかけはし」 済生会川口総合病院 広報誌

手術医療を支える プロフェッショナルチーム



vol. **263**







医療を支える エッショナ ル

現在とこれから一 手術室増設とともに進化する麻酔科の

診療科なのでしょうか?麻酔科とは何をしている

を担っています。 する「周術期医療」の中心的役割 者さんの全身状態を総合的に管理 実際には手術の前後も含めて、 るだけの科と思われがちですが、 麻酔科は、 手術中に麻酔をかけ 患

師が在籍しており、うち8名が麻当院麻酔科には現在、10名の医 酔科専門医、 4名が麻酔科指導医



ています。れの専門性を活かした診療を行っ 漢方専門医も2名在籍し、 ペインクリニック専門医が2名、の資格を有しています。さらに、 それぞ

取り組みの質を高める

神経ブロックなどから適切な手法 脊椎くも膜下麻酔、硬膜外麻酔、 を選択し、 や全身状態に応じて、 麻酔計画を立案しています。 術前の全身状態を改善し、 必要時には他科受診や治療により ひとりの既往歴や合併症を確認し、 でを一貫して行う体制が不可欠で 術前評価・術中管理・術後管理ま 手術を安全に実施するためには、 術前外来では、患者さん一人 手術中は呼吸・循環・ 全身麻酔、 最適な 術式

術前禁煙のすすめ 重要な一歩 ガイドラインに基づく

れており、術後肺合併症や創傷治術前4週間以上の禁煙」が推奨さ 上で、 種ガイドラインでも、「少なくとも す。麻酔科学会をはじめとする各 手術の安全性と回復力を高める 術前の禁煙はとても重要で 術後肺合併症や創傷治

しモニタリングします。

	麻酔科の主な業務内容
業務区分	内容
周術期管理	術前外来、麻酔計画、術中の全身管理(呼吸・ 循環管理)、術後回診(APS)・疼痛管理
疼痛管理	 術後疼痛コントロール (鎮痛薬、神経ブロック)
ペインクリニック 外来(漢方)	慢性疼痛、神経障害性疼痛、頸部痛・腰痛な どへの神経ブロック、薬物治療、漢方薬

当院でも、各科外来、入退院支とが明らかになっています。

体温などのバイタルサインを管理

歴の確認を行い、必要に応じて禁援センター及び術前外来にて喫煙 煙指導を行っています



周術期禁煙ポスター

術後疼痛管理チ \mathcal{L} の活躍

を行っています 立するために、積極的な疼痛対策 APS)が機能しており、 管理チー の術後の快適さと回復の早さを両 ひとつです。当院では、術後疼痛 者さんが不安に感じるポイントの 手術後の ム (Acute Pain Service: 「痛み」 は、 患者さん 多くの患

ことで、合併症の予防にもつなげ 価をもとにきめ細かな調整を行う 鎮痛を提供しています。術後もチー ています。 ムによる定期回診を行い、 個別の術式・状態に応じた最適な 者自己調節鎮痛などを組み合わせ、 硬膜外鎮痛、 神経ブロック、 疼痛評 患

アプローチ慢性疼痛と体質改善へ 0)

麻酔科の知識と技術は、 手術以

外の分野にも活用されています。

ク外来を限られた枠ではありますよる治療を含めたペインクリニッ当院では神経ブロックや漢方薬に が行っています。 インクリニック外来では、 痛・神経障害性疼 腰

せた処方を行いして、体質に合わ ます。 ど、 ており、 ク、 して、 にくい症状に対 因が明確になり 慢性疼痛、不眠な 怠感、食欲不振、 漢方薬も使用し を行っています。 神経痛などに対 痛・帯状疱疹後 西洋医学で原 薬物療法など 神経ブロッ 冷え、 倦

対応力強化と麻酔科の増加 設

4 40

月より、 増室し、8室(9 ギオ(血管造影) ベッド)+アン 2 0 2 5 う構成と 手術室が 年

900

応できるようになりました。とにより、緊急手術にも柔軟に対なっています。手術室が増えたこ

先とし、 術件数の増加に対応しながらも、 せ、 個々の患者さんへの安全面を最優 のとれる体制を整えています。 わないよう努力を重ねています 麻酔科としてもこの変化に合 人員や円滑なオペレーショ きめ細やかなケアを損な 手 ン

質と安心 ムで支える医療の

す。 ながらチー 酔補助臨床工学技士が関わっておく、特定行為研修修了看護師、麻 り、それぞれが専門的役割を担い 当院の麻酔科は、 ム医療を実践していま 医師だけでな

により、 安全性向上を両立しています 指示のもと、 うことができる看護師です。 など迅速かつ適切な医療行為を行 麻酔補助臨床工学技士は、 特定行為看護師は、 医師の負担軽減と医療の 血管確保、 麻酔科医の 薬剤投与 これ 麻酔

対応を可能としていいの迅速なブルの未然防止や手術中の迅速な の準備、 麻酔機器の管理や麻酔科

> グを支援し、チー として安全管理に貢献しています 患者さんの生体情報のモニタリ ムの重要な一 員

周術期医療を提供しています。 当院麻酔科はより安全で質の高 た多職種連携によって、

安心な医療」 当院麻酔科は、 努めてまいります。 現場の質向上とチー で支える多くのスタッフのチー 手術の安全は、 クによって支えられています。 の提供を目指して、 これからも「安全・ 見えないところ ム力の強化に



麻酔科 主任部長 堤 祐介

- 資格・認定 · 日本麻酔科学会: 麻酔科専門医 / 指導医
- · 日本東洋医学会: 漢方専門医 ・日本ペインクリニック学会:ペイン クリニック専門医
- · 厚生労働省: 麻酔科標榜医

2 済生かわぐち

南館オープン!

2025年7月に南館が完成いたしました。2階・3階に済生会川口看護専門学校、 1階には病院本館の機能分散と再編を目的として、人事・総務課、財務・法務課のほか、 職員休憩室やボランティアルームなどが設置されています。







【看護専門学校】

このたび本校は、新校舎を南館に移転し、9月 1日より新たに開校いたしました。南館の2・3階 を看護学校として使用しており、3階には講堂と 学生がくつろげるラウンジを設置しております。 また、基礎・在宅・母性小児・成人老年など、各分 野に対応した実習室を拡充し、より幅広い学び に対応できる環境を整えました。学生一人ひと

りが学びを深められる場として、 未来の医療を担う人材の育成に努 めてまいります。



人事・総務課、財務・法務課は患者さんと直接 接する機会は少ないものの、行政機関との連携 や金融機関への対応、そして病院で働くスタッ フを支える業務を担っております。

移転後も縁の下の力持ちとして、職員や病院 運営を支え、地域への貢献に努めてまいります。

南館の開設にあたり、地域の皆さまより多大なるご厚情を賜りました。今後も、より一層地域に貢献できる病院を目指してまいります。

ご寄付のお願い



地域の未来を支える看護師の育成のため、 ぜひご寄付というかたちでお力添えいただけますと幸いです。 申込につきましては、病院の総合案内にてお声かけください。 または当院ホームページをご覧ください。



『済生かわぐち』261・262 号では「がん」を取り上げましたが、その治療法のひとつとして「手術」があります。「手術」はがん治療にかぎらず、良性の腫瘍、事故などによる外傷、加齢に伴う眼科疾患や脊椎疾患、帝王切開、皮膚・耳鼻咽喉科疾患など幅広く行われています。手術時間も30分未満のものから、8時間を超えるものまでさまざまです。

当院では、2024 年度に 4,600 件を超える手術を行いました。手術の受け入れは 24 時間 365 日で、 緊急手術が重なると、慌ただしい現場になることもたびたびあります。

このような手術室ですが、2025 年 7 月から新たに 1 部屋増設し、現在は 8 部屋 9 ベッドで稼働 しています。当初は「これほど多くの手術枠が埋まるのか」という声もありましたが、

予定手術がじわじわと増え、緊急手術が次々と入り、7月中旬からの稼働にもかかわらず、稼働初月の手術件数が当院史上2番目に多い件数を達成しました。

手術はひとりで行うことはできません。安全な手術の提供には、医師(執刀医や麻酔科医)、看護師の連携はもちろん、手術前の検査や説明、

入院から退院、退院後の生活支援まで、さまざまな部署・施設・

人との連携が不可欠です。「チーム力」を強化・維持することで、 患者さんとご家族へのサポート強化にもつなげていければ と考えています。

> 当院の手術室は明るく元気なスタッフが、多職種 の連携による「チーム力」で安全な手術の提供を 支えています。

4 済生かわぐち



北戸田アルプス皮フ科

一般皮膚科 小児皮膚科 アレルギー科

JR埼京線の北戸田駅、改札から徒歩30秒の場所にある皮膚科です。赤ちゃんからお年寄りまで気軽に受診できる皮膚科クリニックです。アトピー性皮膚炎の生物学的製剤(注射) 投与や円形脱毛症に対する光線療法も行っています。受診希望の方は、当日にホームページの「当日 WEB予約」ボタンを押して、順番を確保してください。

發院@明@第一丛片分分一

地域の皆様の皮膚に関する不安を解消し、健康を保つお手伝いをさせていただきたいと願っております。





院長 古賀 弘志 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 09:00~12:30	0	0	0	_	0	\triangle	_	_
午後 14:30~18:00	0	0	0	_	0	-	-	-

○土曜日は9:00~13:00 ○休診日:木曜 土曜午後 日曜 祝日

住 所: 埼玉県戸田市新曽2220-1 北戸田ファーストゲート タワー2階

TEL: 048-420-3750



こまくさ診療所練馬

内科

こまくさ診療所では「どんな時も家族のように患者さんに寄り添った医療とケアを提供する」という理念を掲げ、常に患者さんやご家族の立場に立った訪問診療サービスをおこなっています。私たちは「不安を取り除くこと」を第一に考えています。当院は患者さんの状態に関わらず、受入要請を断らないことを信条にしています。ご自宅や施設での看取りにも対応。「最後の砦」として、私たちがいることで皆さんに安心を届けたいと思っています。他の診療所で受け入れを断られてしまった患者さんもお問い合わせください。







なかがわ たかゆき 中川 高行 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝		
15:00~18:00	0	0	0	0	0	_	_	-		
内科(予約制)										

○訪問診療:月~土 09:00~18:00 ○休診日:日曜 祝日

住 所:東京都練馬区平和台4-7-23 EdgeA1階 • 2階 TEL: 03-4530-8435



板橋石川クリニック

人工添析内积

当院は透析治療専門のクリニックです。都営三田線志村坂上駅から徒歩1分の場所にあり、車では済生会川口総合病院から荒川を挟み20~30分の距離にございますが、ご自身で通院が困難な患者さまを対象に無料の送迎サービスも行っております。また管理栄養士による栄養指導や医療ソーシャルワーカーが患者さまの不安や心配事のお話をお伺いし、問題解決のお手伝いをさせていただきます。『心の通う、安全で、質の高い、安心できる、医療を目指します』を理念として掲げ、透析を受けながらも患者さまがQOL(生活の質)を維持・向上できるよう、心を込めて支援してまいります。







院長 池田 匡儀 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
09:00~19:00	0	_	0	_	0	_	_	0
09:00~22:00	-	0	_	0	_	_	_	0
09:00~20:30	-	_	_	_	_	0	_	0

○火曜·木曜が祝日の場合09:00~20:30 ○休診日:日曜

住 所: 東京都板橋区小豆3-6-7 NK 志村坂上 ビル 2・3F 受付は(3F)

TEL: 03-5914-3850



かわぐちウエストパーククリニック

□内科 脳神経内科

神経内科専門医2人体制で、夫婦で診療をしています。長谷川医師が東京科学大学脳神経内科、須田医師が順天堂大学脳神経内科に所属しており、専門機関とも連携が取りやすい環境です。2人とも沖縄・離島での地域医療にも携わっていたことから、内科一般に関しても幅広く診療可能です。脳神経内科の疾患では、特に片頭痛(予防のための抗CGRP抗体製剤の皮下注射も扱います)、パーキンソン病(細かい薬剤調整や難病申請も可能です)、認知症(認知機能検査、血液検査、画像検査などで診断し薬剤調整や生活環境整備のお手伝いを行います)、てんかん(自立支援制度が利用可能、脳波検査も可能です)などを扱っています。オンライン診療、訪問診療も行っています。お気軽にご相談ください。





院長 長谷川 樹里 先生

副院長 須田 晃充 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 09:30~12:30	0	0	0	0	0	-	_	_
午後 14:00~17:00	0	0	_	0	0	_	_	_

○休診日:水曜午後 土曜 日曜 祝日

住 所:埼玉県川口市飯塚1-3-6 プラウドタワー川口102

TEL: 048-242-3227

院長日誌

以前にも書かせていただきましたが、現在、病院経営を取り巻く環境は非常 に厳しく、多くの病院が経営に苦しんでいます。このところ物価上昇が急激に 進み、電気ガス光熱費・材料費・委託費すべてのものが上がるなか、病院の収 入は保険診療によるものがほとんどで、公定価格による診療報酬で決めら れており、これが上がらない。当然のことながら利益を出すことは難しくな り、赤字病院がどんどん増えている状況です。昨年度全国では7-8割ほどの 病院が赤字決算でした。今年度もその状況が続いています。経営努力が足り ない、あるいは何らかの要因があって2-3割の病院が赤字決算になるならま だしも、7-8割の病院が赤字になるのはどう考えてもおかしい。報酬に価格転



病院長 佐藤 雅彦

嫁のできない制度の中で、国の決定はどう考えても理解できない。しっかりとした診療を行っても 赤字が増えるようでは、今後多くの病院が経営危機に陥り、なくなっていくことを危惧しています。 地域の皆様にもこの点を理解していただきたいと思います。

参加 無料

■ 小児健康教室(オンライン配信)

- •「成長」
 - 配 信:2025年11月17日~12月1日 (申し込み:2025年10月14日~12月1日)
- ・「けいれん」
 - 配 信:2025年12月1日~12月15日 (申し込み:2025年11月4日~12月15日)

済生会川口乳児院からのお知らせ

資金使途:乳児院の建物老朽化による新院建築のため 詳しくは乳児院ホームページでご確認ください。

□ 問い合わせ:小児科 0570-08-1551(代) (平日15:00~16:30) ※事前申し込みが必要です。 詳しくは当院ホームページでご確認ください。

クラウドファンディングに挑戦中!

募集期間:2025年12月12日(金)まで

ご支援よろしくお願いいたします。

【成長】



【けいれん】

新仟医師紹介



リハビリテーション科



外科 半田 和佳 稲垣 尚仁



血管外科

花田 和正

放射線科 根本 彩夏



呼吸器内科 長井 浩二



李 梦嬌



腎臓内科 野村 華那



産婦人科 谷口 美佑紀 白井 千有希



脳神経外科

【公式】 済生会川□総合病院 ▶ マタニティInstagram



【院外報・済生かわぐち】 バックナンバー ▶



【済生会川口総合病院】 採用情報 ▶



病院の理念

患者さんを中心とした 質の高い医療の提供により 地域・社会に貢献します



埼玉県済生会川口総合病院

〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5 ● tel 0570-08-1551(代) ● HP https://www.saiseikai.gr.jp/ 済生かわぐち 第263号 2025年10月25日発行 ●発行人:病院長 佐藤 雅彦 ●編 集:経営企画課